

**marantz®**

Integrated Amplifier  
**PM8005**

取扱説明書

# 目次

## 目次

使用上のご注意	3
携帯電話使用時のご注意	3
お手入れについて	3
結露（つゆつき）について	3
付属品	4
乾電池の入れかた	5
リモコンの使いかた	5
特長	6
高音質	6
多彩な機能	7
簡単操作	7

## 各部の名前

フロントパネル	8
リアパネル	10
リモコン	12
本機の操作	12
CDプレーヤーの操作	13
ネットワークオーディオプレーヤーの操作	14

## 接続のしかた

スピーカーを接続する	16
スピーカーケーブルを接続する	16
スピーカーA/B接続	17
バイワイヤリング接続	18
再生機器を接続する	19
録音機器を接続する	20
パワーアンプやプリアンプを接続する	21
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	22
リモコンの操作をやすくする	22
マランツ製機器をリモート接続する	22
電源コードを接続する	23

## 再生のしかた

電源を入れる	25
音声を出力するスピーカーを選ぶ	26
入力ソースを選ぶ	26
音量を調節する	26
一時的に音を消す（ミュートイング）	26
音質を調節する	26
CDを再生する	27
録音する	28

## 設定のしかた

オートスタンバイモードを設定する	30
オートスタンバイモードをオンにする	30
オートスタンバイモードをオフにする	30
パワーアンプダイレクトモードを設定する	31
パワーアンプダイレクトモードをオンにする	31
パワーアンプダイレクトモードをオフにする	31

## 困ったときは

目次	32
こんなときの解決方法	33
故障かな?と思ったら	34
保証と修理について	38

## 付録

用語の解説	39
主な仕様	40
索引	41

## 使用上のご注意

### 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

### お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

### 結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1～2時間放置してから使用してください。

### ステレオ音のエチケット



音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

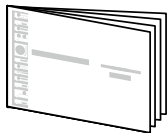
お買い上げいただきありがとうございます。  
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

## 付属品

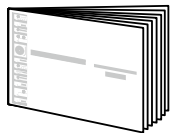
---

ご使用になる前にご確認ください。

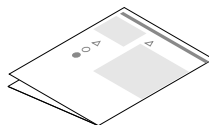
① 簡単セットアップガイド



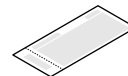
② 取扱説明書（本書）



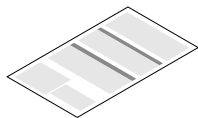
③ 安全にお使いいただくために



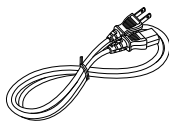
④ 保証書



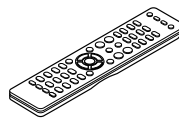
⑤ 製品のご相談と  
修理・サービス窓口のご案内



⑥ 電源コード【本機専用】



⑦ リモコン（RC002PMSA）

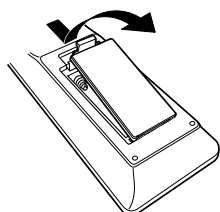


⑧ 単4形乾電池（2本）

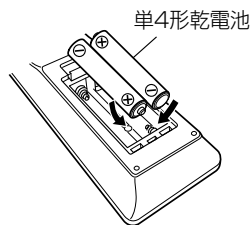


## 乾電池の入れかた

- 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



- 乾電池（2本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



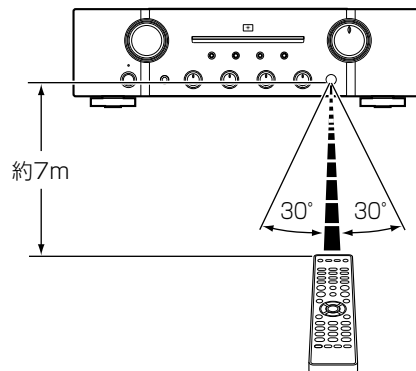
- 裏ぶたを元どおりにする。

### ご注意

- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部に付いた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

## リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



# 特長

## 高音質

### ・フルディスクリット・電流帰還型アンプ

本機のプリアンプとパワーアンプにはディスクリット部品で構成されたマランツ独自の電流帰還型回路を採用しています。上級機で培った最新の技術を取り入れたハイスピードアンプです。

### ・HDAM<sup>®</sup>SA3

HDAM<sup>®</sup>SA3は、電流帰還型アンプの要となるアンプモジュールです。最重要部である電圧から電流変換部に搭載し、回路の安定度を向上させ、ハイスピードサウンドを支えます。

### ・瞬時電流供給能力の向上

スペックが同じアンプでも音質が違ふことは一般的に知られていますが、マランツではその原因をスピーカーのドライブ能力の違いにあると考えています。本機のパワーアンプは瞬間的に45A以上の電流を流す能力を持っていますので、スピーカーを強かにドライブします。

### ・ショート・パワー・ライン・レイアウト

瞬時電流供給能力を向上させるために電源回路とパワーアンプの出力段を一体化したショートパワーラインレイアウトを採用しています。このレイアウトは大電流ラインを最短で結び、左右対称になるよう配置しています。

### ・CDダイレクト・バッファ・アンプ

CD入力端子には端子の直近にCD専用の入力バッファアンプを搭載しています。このバッファアンプはディスクリット構成の高速バッファアンプで、左右チャンネルの干渉を防ぎ信号を忠実にプリアンプに伝送します。

### ・フルディスクリット・電流帰還型PHONOイコライザー

MMカートリッジ用PHONOイコライザーアンプには、上級機と同様のコンスタント・カレント・フィードバック型PHONOイコライザーを搭載しました。

### ・2重シールド・トロイダルトランス

電源トランス特有の振動と漏洩磁束の少ないトロイダル型電源トランスを搭載しました。特に音質に悪影響を及ぼす漏洩磁束を抑えるため、外周にコアリングとショートリングの2重シールドを施しています。

### ・大容量ブロック電解コンデンサ


パワーアンプ用電源回路に上級機の思想を採り入れ新開発した18000 $\mu$ Fの大容量コンデンサを搭載しています。

### ・2系統スピーカー出力端子搭載

スピーカーA/スピーカーBの2組のスピーカーを駆動するのはもちろん、高域・低域用に入力端子が分かれたバイワイヤリング対応のスピーカーにも接続できます（[P.18](#)ページ）。端子は太めのスピーカーケーブルも確実に接続できるスクリュ一式を採用しました。

## 多彩な機能

### • トライ・トーン・コントロール機能


低音域、高音域に加え、中音域の強弱を調節するトーンコントロール機能を搭載していますので、ソースやシステムにあわせて好みの音質に調節できます（ 26ページ）。

### • パワーアンプダイレクトモード

パワーアンプダイレクトモードでは、本機はパワーアンプとして動作します。ホームシアター用などにもお使いいただけます。

## 簡単操作

### • CDプレーヤーやネットワークオーディオプレーヤー対応のリモコン

本機に付属しているリモコンは、本機の他にマランツ製のCDプレーヤーやネットワークオーディオプレーヤーを操作できます（ 12ページ）。

目次

接続のしかた

再生のしかた

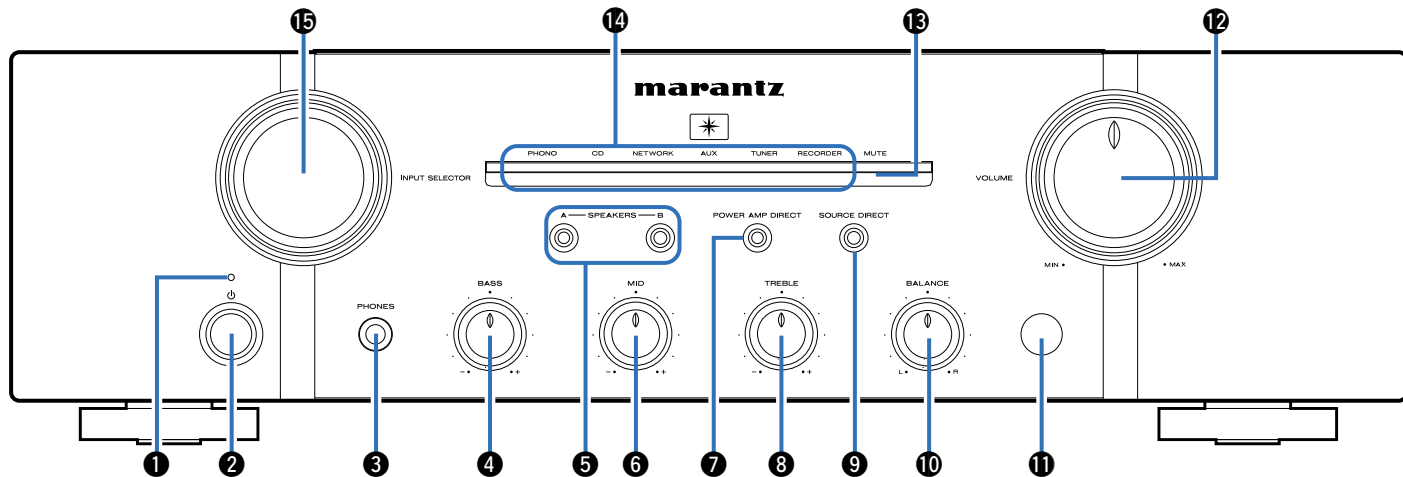
設定のしかた

困ったときは

付属

# 各部の名前

## フロントパネル



### ① 電源表示

電源の状態によって、次のように点灯します。

- ・電源オン時：消灯
- ・スタンバイ時：赤色
- ・電源オフ時：消灯
- ・保護回路動作時：赤色（点滅）

### ② 電源ボタン (⏻)

電源をオン/オフします (P.25ページ)。

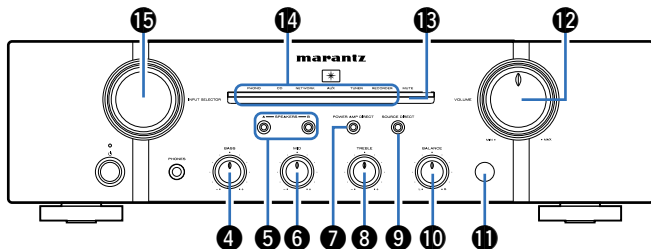
### ③ ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンを接続します。  
ヘッドホンをご使用になるときは、スピーカーの出力をオフにしてください (P.26ページ)。

#### ご注意

- ・ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。





**④ 低音調節つまみ (BASS)**

低音を調節します (☞26ページ)。

**⑤ スピーカー切り替えボタン/表示 (SPEAKERS A/B)**

音声を出力するスピーカーを選択します (☞26ページ)。

**⑥ 中音調節つまみ (MID)**

中音を調節します (☞26ページ)。

**⑦ パワーアンプダイレクトボタン/表示 (POWER AMP DIRECT)**

パワーアンプダイレクトモードのオン/オフを切り替えます (☞31ページ)。

**⑧ 高音調節つまみ (TREBLE)**

高音を調節します (☞26ページ)。

**⑨ ソースダイレクトボタン/表示 (SOURCE DIRECT)**

ソースダイレクトモードのオン/オフを切り替えます (☞27、30ページ)。

**⑩ バランス調節つまみ (BALANCE)**

左右のスピーカーから出力する音量のバランスを調節します (☞26ページ)。

**⑪ リモコン受光部**

リモコンからの信号を受信します (☞5ページ)。

**⑫ 音量調節つまみ (VOLUME)**

音量を調節します (☞26ページ)。

**⑬ ミュート表示 (MUTE)**

消音中に点灯します (☞26ページ)。

**⑭ 入力ソース表示 (☞26ページ)**

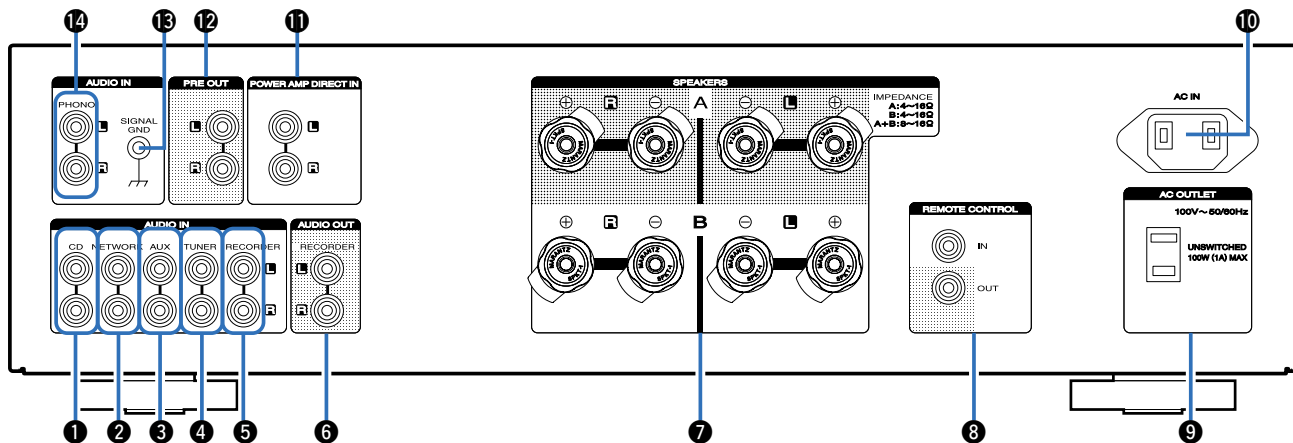
**⑮ 入力ソース切り替えつまみ (INPUT SELECTOR)**

入力ソースを切り替えます (☞26ページ)。

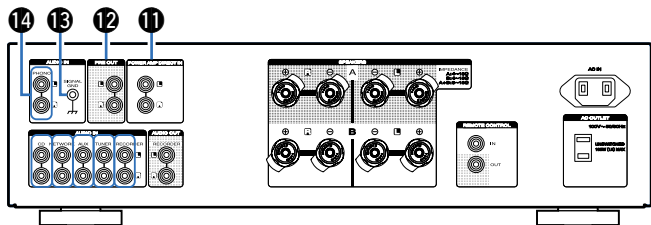


• ④、⑥、⑧、⑩は、⑨が消灯 (ソースダイレクトモードがオフ) のときに調節できます。

# リアパネル



- 1 CDプレーヤー入力端子 (CD)**  
CDプレーヤーを接続します (☞ 19ページ)。
- 2 ネットワークオーディオプレーヤー入力端子 (NETWORK)**  
ネットワークオーディオプレーヤーを接続します (☞ 19ページ)。
- 3 AUX入力端子 (AUX)**  
プレーヤーを接続します (☞ 19ページ)。
- 4 チューナー入力端子 (TUNER)**  
チューナーを接続します (☞ 19ページ)。
- 5 レコーダー入力端子 (RECORDER)**  
録音機器の出力端子を接続します (☞ 20ページ)。
- 6 レコーダー出力端子 (RECORDER)**  
録音機器の入力端子を接続します (☞ 20ページ)。
- 7 スピーカー端子 (SPEAKERS)**  
スピーカーを接続します (☞ 16ページ)。
- 8 リモートコントロール入出力端子 (REMOTE CONTROL)**  
リモートコントロール機能に対応しているマランツ製AV機器を接続します (☞ 22ページ)。
- 9 ACアウトレット (AC OUTLET)**  
他のAV機器の電源コードを接続します (☞ 23ページ)。
- 10 ACインレット (AC IN)**  
電源コードを接続します (☞ 23ページ)。



**⑪ パワーアンプダイレクト入力端子 (POWER AMP DIRECT IN)**

本機をパワーアンプとしてご使用になる場合に、プリアンプを接続します (☞ 21ページ)。

**⑫ プリアウト端子 (PRE OUT)**

パワーアンプやサブウーハーを接続します (☞ 21ページ)。



・サブウーハーを接続する場合、お手持ちのサブウーハーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

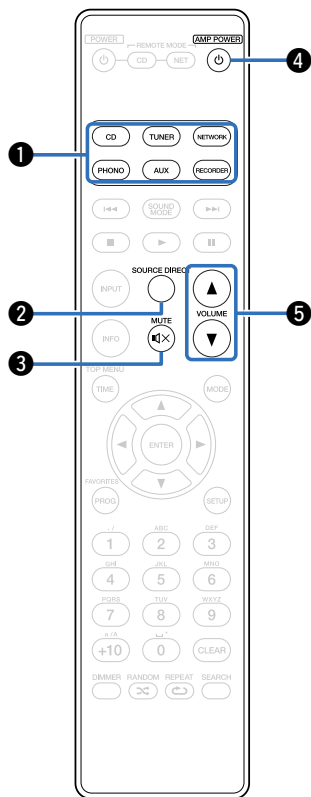
**⑬ アース端子 (SIGNAL GND)**

レコードプレーヤーを接続します (☞ 19ページ)。

**⑭ レコードプレーヤー入力端子 (PHONO)**

レコードプレーヤーを接続します (☞ 19ページ)。

# リモコン



## 本機の操作

- ① 入力ソース切り替えボタン**  
入力ソースを切り替えます (☞26ページ)。
- ② ソースダイレクトボタン (SOURCE DIRECT)**  
ソースダイレクトモードのオン/オフを切り替えます (☞27ページ)。
- ③ 消音ボタン (MUTE  $\text{M}\times$ )**  
消音します (☞26ページ)。
- ④ 電源ボタン (AMP POWER  $\text{P}$ )**  
本機の電源をオン/オフ (スタンバイ) します (☞25ページ)。
- ⑤ 音量調節ボタン (VOLUME  $\blacktriangle$  $\blacktriangledown$ )**  
音量を調節します (☞26ページ)。

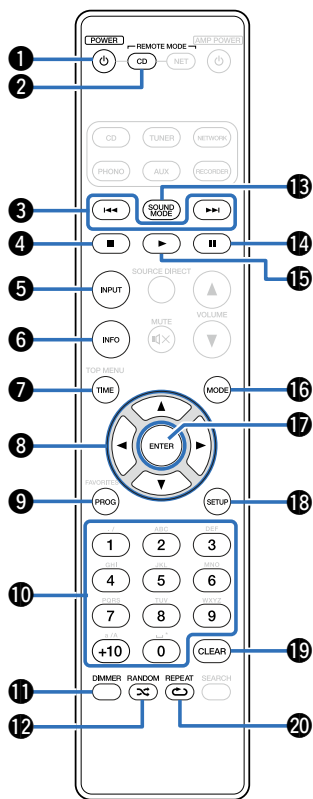


- リモートモード切り替えボタンのCDを押すと、リモコンがCDプレーヤーの操作モードに切り替わります (☞13ページ)。
- リモートモード切り替えボタンのNETを押すと、リモコンがネットワークオーディオプレーヤーの操作モードに切り替わります (☞14ページ)。

## CDプレーヤーの操作

マランツ製CDプレーヤーを操作するときは、リモートモードCD切り替えボタン (REMOTE MODE CD) を押して、リモコンをCDプレーヤーの操作モードに切り替えます。

- ・リモートモードCD切り替えボタン (REMOTE MODE CD) ボタンが約2秒間点灯します。



- |                                     |                           |
|-------------------------------------|---------------------------|
| ① 電源ボタン (POWER ㊤)                   | ⑪ 明るさ調節ボタン (DIMMER)       |
| ② リモートモードCD切り替えボタン (REMOTE MODE CD) | ⑫ ランダムボタン (RANDOM ∞)      |
| ③ スキップボタン (⏮, ⏭)                    | ⑬ サウンドモードボタン (SOUND MODE) |
| ④ 停止ボタン (■)                         | ⑭ 一時停止ボタン (⏸)             |
| ⑤ メディアモード切り替えボタン (INPUT)            | ⑮ 再生ボタン (▶)               |
| ⑥ インフォメーションボタン (INFO)               | ⑯ 再生モード切り替えボタン (MODE)     |
| ⑦ 時間表示切り替えボタン (TIME)                | ⑰ エンターボタン (ENTER)         |
| ⑧ カーソルボタン (△▽◀▶)                    | ⑱ セットアップボタン (SETUP)       |
| ⑨ プログラムボタン (PROG)                   | ⑲ クリアボタン (CLEAR)          |
| ⑩ 数字ボタン (0~9、+10)                   | ⑳ リpeatボタン (REPEAT ⇄)     |

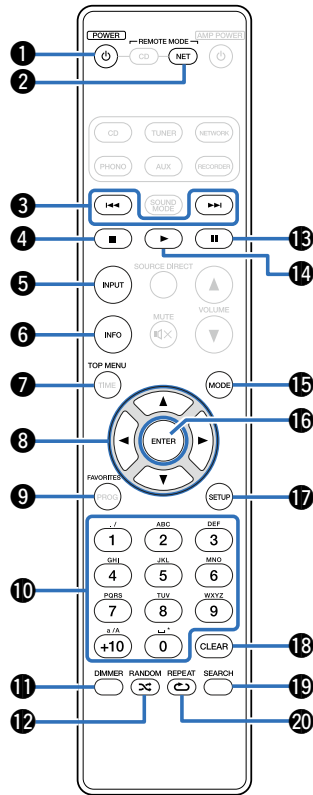


- ・リモートモードが“CD”のときも、アンプの操作ボタンでアンプを操作できます。ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。(一部操作ができない製品もあります。)

## ネットワークオーディオプレーヤーの操作

マランツ製ネットワークオーディオプレーヤーを操作するときは、リモートモードNET切り替えボタン (REMOTE MODE NET) を押して、リモコンをネットワークオーディオプレーヤーの操作モードに切り替えます。

・リモートモードNET切り替えボタン (REMOTE MODE NET) が約2秒間点灯します。



- |  |  |
|--|--|
| ① 電源ボタン (POWER $\odot$ )   | ⑪ 明るさ調節ボタン (DIMMER)                    |
| ② リモートモードNET切り替えボタン (REMOTE MODE NET)                            | ⑫ ランダムボタン (RANDOM $\infty$ )           |
| ③ スキップボタン (I◀◀, ▶▶I)   | ⑬ 一時停止ボタン (  )                         |
| ④ 停止ボタン (■)  | ⑭ 再生ボタン (▶)                            |
| ⑤ 入力ソース切り替えボタン (INPUT)   | ⑮ 再生モード切り替えボタン (MODE)                  |
| ⑥ インフォメーションボタン (INFO)  | ⑯ エンターボタン (ENTER)                      |
| ⑦ トップメニューボタン (TOP MENU)  | ⑰ セットアップボタン (SETUP)                    |
| ⑧ カーソルボタン ( $\Delta$ $\nabla$ $\triangleleft$ $\triangleright$ ) | ⑱ クリアボタン (CLEAR)                       |
| ⑨ お気に入りボタン (FAVORITES)   | ⑲ サーチボタン (SEARCH)                      |
| ⑩ 数字ボタン (0~9、+10)  | ⑳ リピートボタン (REPEAT $\curvearrowright$ ) |



・リモートモードが“NET” のときも、アンプの操作ボタンでアンプを操作できます。ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。(一部操作ができない製品もあります。)

# 接続のしかた

スピーカーを接続する (☞ 16ページ)

再生機器を接続する (☞ 19ページ)

録音機器を接続する (☞ 20ページ)

パワーアンプやプリアンプを接続する (☞ 21ページ)

リモートコントロール端子付きの機器を接続する  
(☞ 22ページ)

電源コードを接続する (☞ 23ページ)

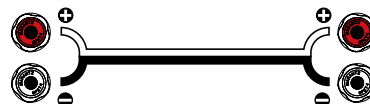
## ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

## ■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

スピーカーケーブル  
(別売り)



オーディオケーブル  
(別売り)



リモート接続ケーブル  
(別売り)



# スピーカーを接続する

## ご注意

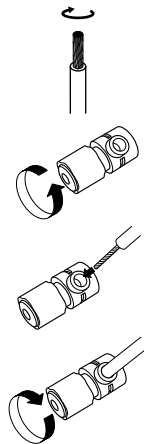
- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します（[P.39](#)ページ「保護回路」）。
- 通電中は、絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは次のインピーダンスのものをお使いください。

ご使用になるスピーカー端子	スピーカーインピーダンス
SPEAKERS A (標準的な接続)	4~16 Ω
SPEAKERS B	4~16 Ω
SPEAKERS Aおよび SPEAKERS B	8~16 Ω
SPEAKERS Aおよび SPEAKERS B (バイワイヤリング接続時)	4~16 Ω

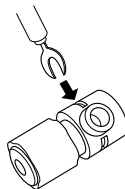
## スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、+（赤）、-（白）をよく確認して、同じ極性を接続してください。

- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。
- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。
- 4 スピーカー端子を右に回して締める。

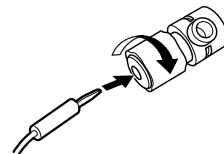


### Yラグ端子の場合



### バナナプラグの場合

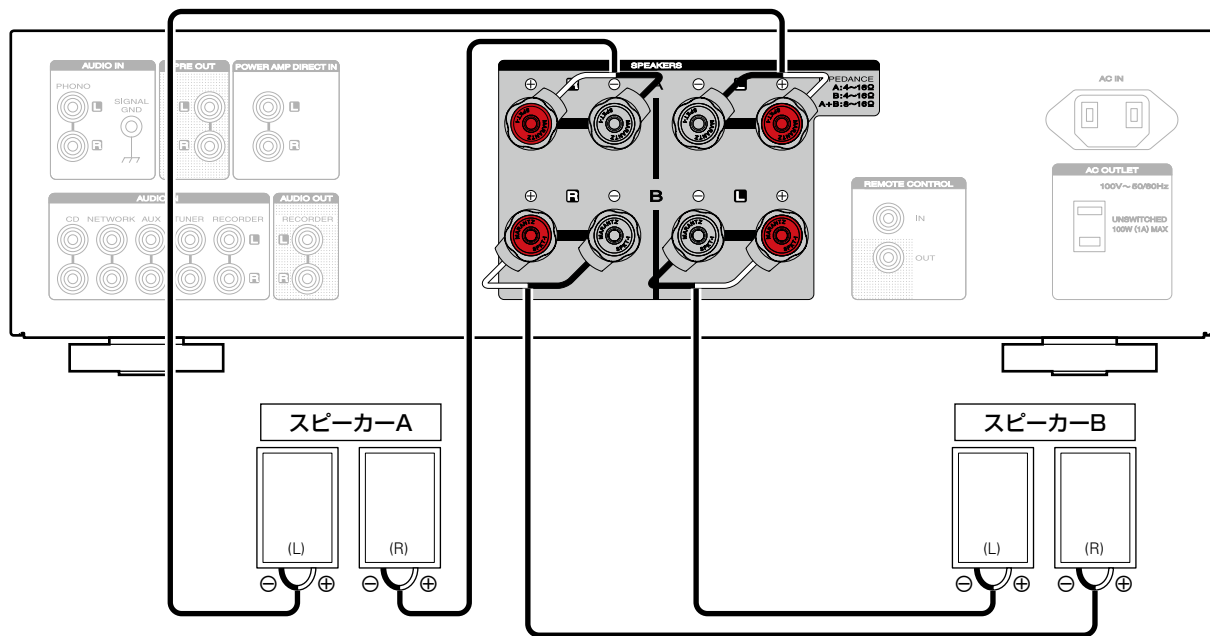
端子を右に回して締め付けてから挿入する。





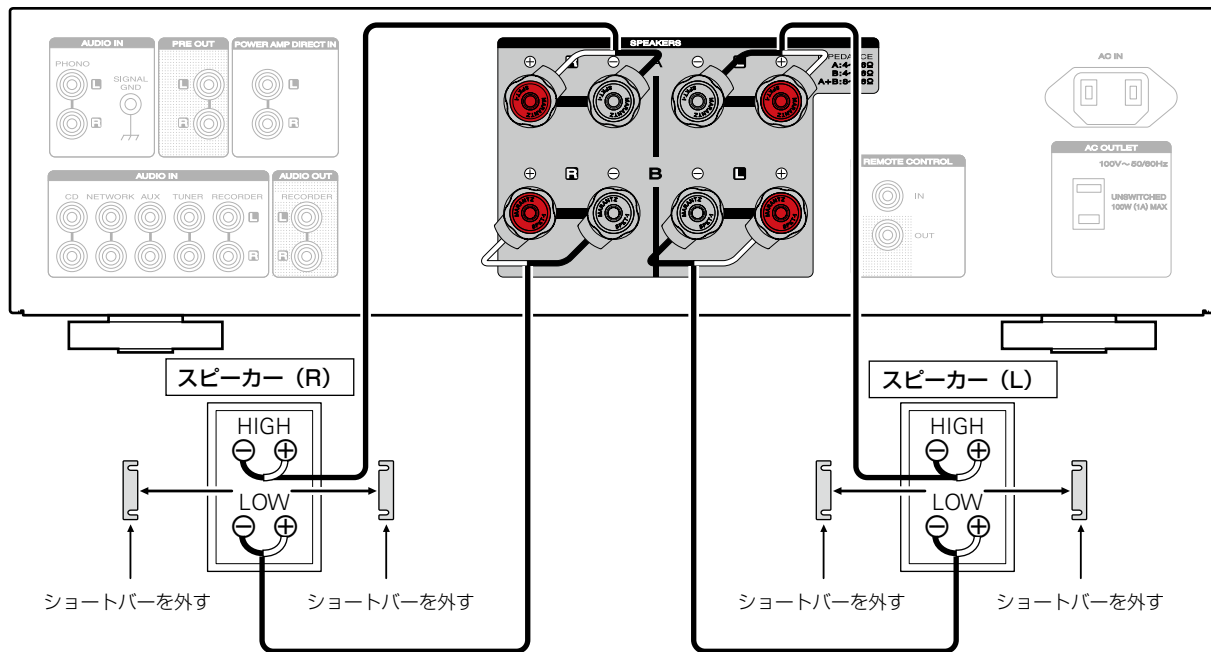
## スピーカーA/B接続

- SPEAKERS A端子およびSPEAKERS B端子から、同じ信号を出力します。
- スピーカーを1組のみ接続するときは、SPEAKERS AまたはSPEAKERS B端子のどちらかに接続してください。



## バイワイヤリング接続

- バイワイヤリング接続に対応しているスピーカーの高域用入力端子とSPEAKERS A（またはSPEAKERS B）を、低域用入力端子とSPEAKERS B（またはSPEAKERS A）をそれぞれ接続してください。
- この接続では高域用スピーカーと低域用スピーカー間に生じる、信号の干渉の影響を低く抑えることができるため、高品位な再生をお楽しみいただけます。

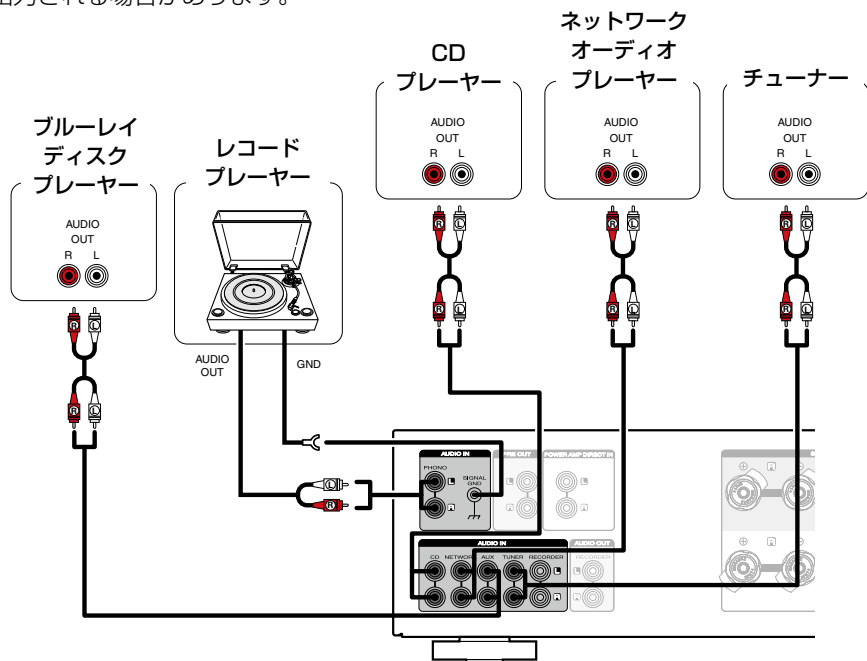


## 再生機器を接続する

本機には、ブルーレイディスクプレーヤー、レコードプレーヤー、CDプレーヤー、ネットワークオーディオプレーヤーおよびチューナーを接続できます。

また、本機はMMカートリッジ付きのレコードプレーヤーに対応しています。MCカートリッジ付きのレコードプレーヤーを接続する場合は、別売りのMCヘッドアンプまたは昇圧トランスを使用してください。

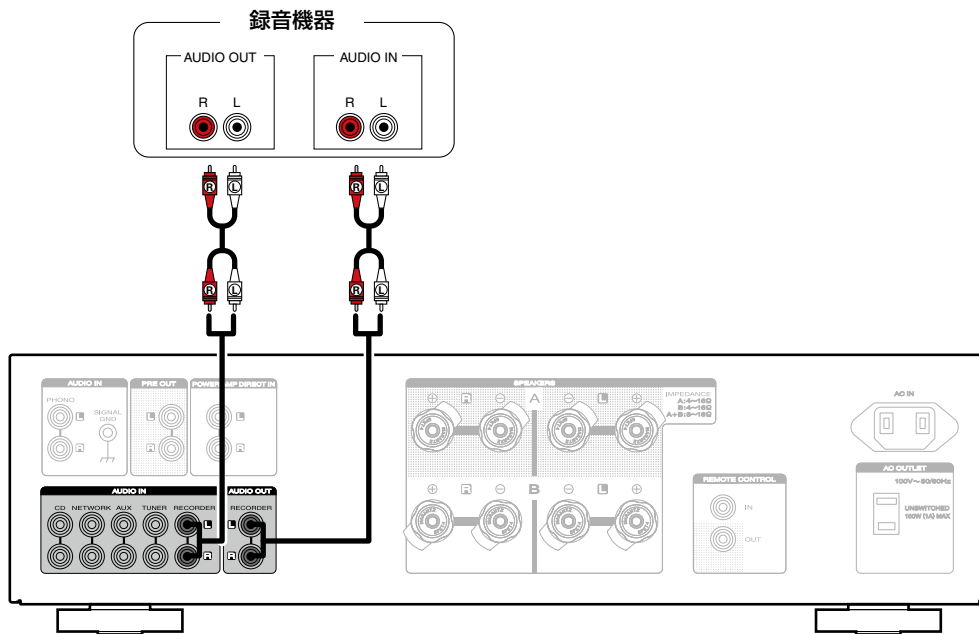
本機の入力ソースを“PHONO”にし、レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げると、“ブーン”という雑音が発生することがあります。



### ご注意

- 本機のアース端子（SIGNAL GND）は、安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減できます。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆に雑音が大きくなる場合があります。この場合は、アース線を接続する必要はありません。

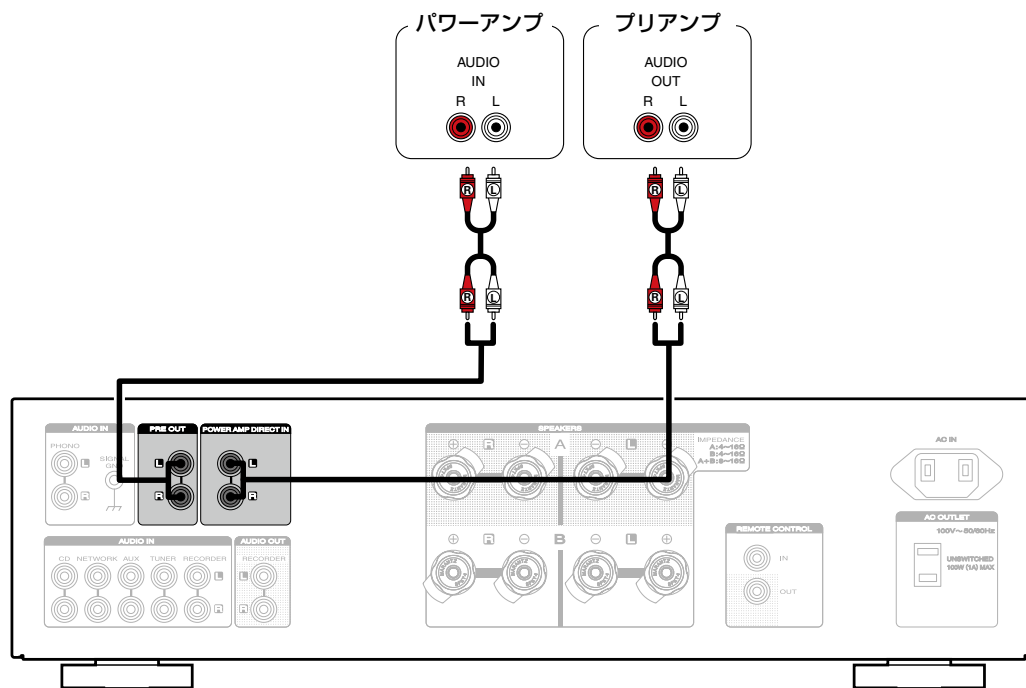
## 録音機器を接続する



### ご注意

- レコーダー出力端子（AUDIO OUT RECORDER）にショートピンプラグを挿入しないでください。故障の原因になります。

# パワーアンプやプリアンプを接続する



## ご注意

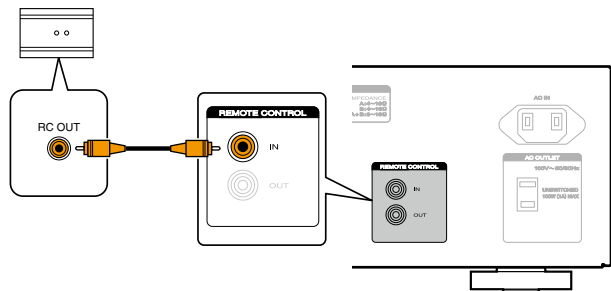
- プリアウト (PRE OUT) 端子にショートピンプラグを挿入しないでください。故障の原因になります。

# リモートコントロール端子付きの機器を接続する

## リモコンの操作をしやすくする

赤外線受信機（別売り）を本機に接続して使いやすい位置に設置することで、リモコンの操作がしやすくなります。

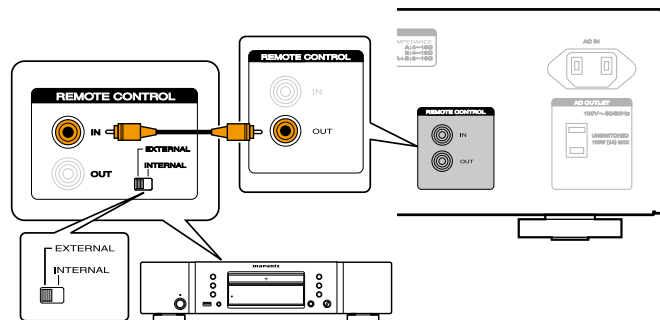
赤外線受信機



## マランツ製機器をリモート接続する

マランツ製AV機器に付属しているリモート接続ケーブルを使用してREMOTE CONTROL IN/OUT端子に機器を接続するだけで、リモコン信号を転送できます。

この接続をおこなう場合は、本機と接続する機器の背面に装備されているリモートコントロールスイッチを“EXTERNAL”に設定してください。



# 電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

## ■ ACアウトレットへの接続について

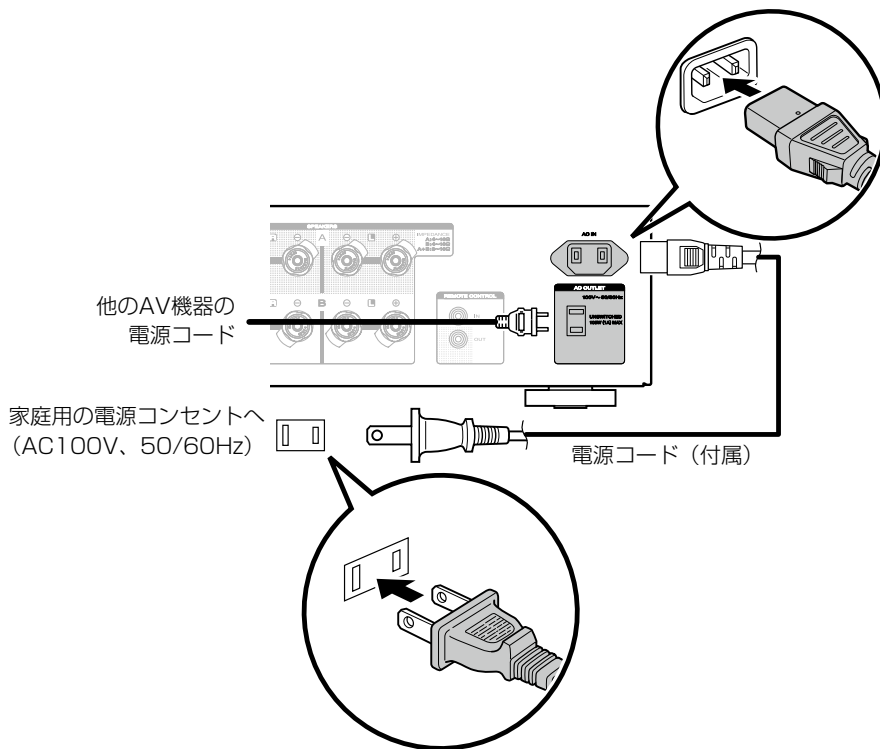
本機は、ACアウトレットから他のAV機器に電源を供給できます。

## □ UNSWITCHED (非連動)

本機の電源のオン/スタンバイにかかわらず、電源を供給します。  
消費電力が最大100W (1A) までのAV機器を接続できます。

### ⚠ 警告

絶対許容電力以上の機器を接続しないでください。許容電力以上の機器を接続すると、火災・感電の原因となります。



## 再生のしかた

電源を入れる (🔍25ページ)

音声を出力するスピーカーを選ぶ (🔍26ページ)

入力ソースを選ぶ (🔍26ページ)

音量を調節する (🔍26ページ)

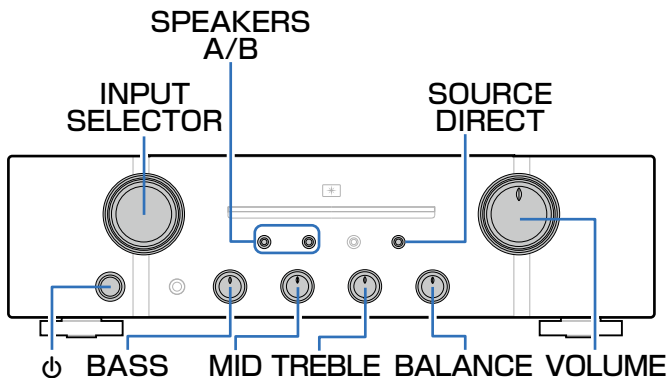
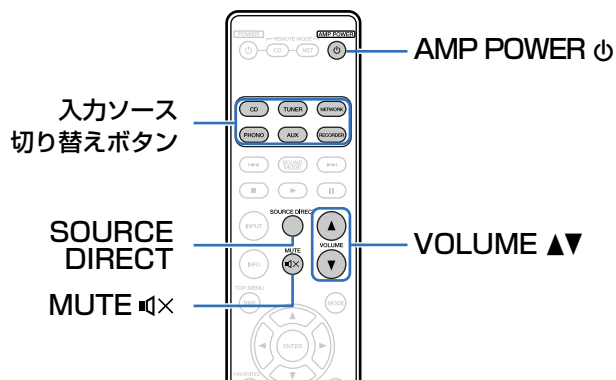
一時的に音を消す (ミュートイング) (🔍26ページ)

音質を調節する (🔍26ページ)

CDを再生する (🔍27ページ)

録音する (🔍28ページ)





## 電源を入れる

- 1 本体の **⏻** を押して、電源を入れる。  
選択している入力ソースの表示が点灯します。

### ご注意

- 電源を入れる前に、本体のVOLUMEを回して、音量を最小にしてください。

### ■ 電源をスタンバイにする

- 1 AMP POWER **⏻** を押す。  
電源表示が赤色に点灯します。



- スタンバイ状態から再び電源を入れるときは、AMP POWER **⏻** を押してください。
- スタンバイ中に本体のINPUT SELECTORを操作しても、電源が入りません。

### ■ 電源を切る

- 1 本体の **⏻** を押して、電源を切る。  
すべての表示が消灯します。

## 音声を出力するスピーカーを選ぶ

1 本体のSPEAKERS A/Bを押して、再生するスピーカーを選ぶ。

選択したスピーカーの表示が点灯します。



- 本体のSPEAKERS A/Bを押して、スピーカー切り替え表示が消灯するとスピーカーの音声出力がオフになります。

## 入力ソースを選ぶ

1 入力ソース切り替えボタンを押して、再生する入力ソースを選ぶ。

選択した入力ソースの表示が点灯します。



- 本体のINPUT SELECTORを回しても、入力ソースを選択できません。

## 音量を調節する

1 VOLUME ▲▼を押して、音量を調節する。



- 本体のVOLUMEを回しても、音量を調節できません。

## 一時的に音を消す（ミュートイング）

1 MUTE ㊦ を押す。  
ミュート表示が点灯します。



- ミュートイングを解除するときは、もう一度MUTE ㊦ を押してください。

## 音質を調節する

1 本体のBASS、MID、TREBLEおよびBALANCEを回して、音質を調節する。

### ご注意

- ソースダイレクトモードがオンの場合、音声信号が音質調節回路（BASS、MID、TREBLE、BALANCE）を通らないため、音質を調節できません。ソースダイレクト表示が消灯していることをご確認ください。

## CDを再生する

- 1 本体の **⏻** を押して、電源を入れる。
- 2 入力ソース切り替えボタンを押して、入力ソースを“CD”に切り替える。  
入力ソース表示の“CD”が点灯します。
- 3 CDプレーヤーを再生する。
- 4 VOLUME ▲▼を押して、音量を調節する。

## ■ ソースダイレクトモードで再生する

音声信号が音質調節回路  
(BASS、MID、TREBLE、BALANCE) を通らないため、  
より原音に忠実な再生ができます。

- 1 SOURCE DIRECTを押して、ソースダイレクトモードをオンにする。  
ソースダイレクト表示が点灯します。

## 録音する

- 1 本体の **⏻** を押して、電源を入れる。
- 2 入力ソース切り替えボタンを押して、録音したい入力ソースに切り替える。  
選択した入力ソース表示が点灯します。
- 3 録音をはじめる。
  - 操作のしかたは、録音機器の取扱説明書をご覧ください。

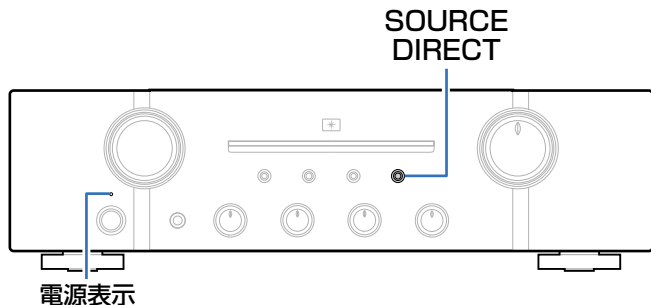
# 設定のしかた

オートスタンバイモードを設定する (☞ 30ページ)

パワーアンブダイレクトモードを設定する (☞ 31ページ)

## オートスタンバイモードを設定する

音声の入力がない状態で本機を約30分間操作しないとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定できます。  
お買い上げ時は、オートスタンバイモードをオフに設定しています。



### オートスタンバイモードをオンにする

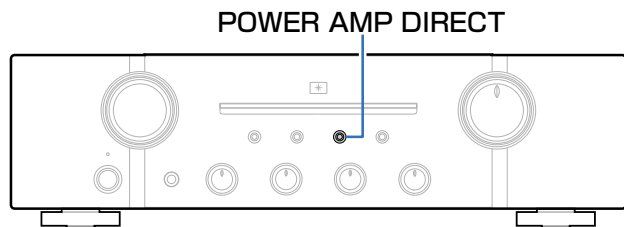
- 1 本体のSOURCE DIRECTを5秒以上押して、オートスタンバイモードをオンにする。  
電源表示が3回点滅します。

### オートスタンバイモードをオフにする

- 1 本体のSOURCE DIRECTを5秒以上押して、オートスタンバイモードをオフにする。  
電源表示が1回点滅します。

# パワーアンプダイレクトモードを設定する

プリアンプを接続して本機をパワーアンプとしてご使用になる場合、パワーアンプダイレクトモードをオンに設定してください。



## パワーアンプダイレクトモードをオンにする

- 1 **POWER AMP DIRECT**を3秒以上押して、パワーアンプダイレクトモードをオンにする。  
パワーアンプダイレクト表示が点灯し、リアパネルのパワーアンプダイレクト入力端子に接続した機器の再生をします。

## パワーアンプダイレクトモードをオフにする

- 1 **POWER AMP DIRECT**を3秒以上押して、パワーアンプダイレクトモードをオフにする。  
パワーアンプダイレクト表示が消灯し、選択した入力ソースの再生をします。

### ご注意

- パワーアンプダイレクトモードをオンにすると、本機の音量、バランス、音質の調節は無効になります。それらの調節はプリアンプでおこなってください。
- パワーアンプダイレクトモードをオンにすると、本機の音量は最大になります。再生する前に入力側の機器の出力レベルを確認し、音量を調節してください。

# 困ったときは

## 目次

- **こんなときの解決方法** ..... (33)
  - お好みの音質に調節したい..... (33)
  - 原音に忠実な再生をしたい..... (33)
  - 本機のリモコンでマランツ製CDプレーヤーやネットワークオーディオプレーヤーを操作したい ..... (33)
  - 本機をパワーアンプとして使用したい ..... (33)
  - 本機をプリアンプとして使用したい ..... (33)
- **故障かな？と思ったら** ..... (34)
  - 電源が入らない / 電源が切れる ..... (34)
  - リモコンで操作ができない..... (35)
  - 音がまったく出ない ..... (36)
  - 希望する音が出ない ..... (37)
  - 音がひずんだり、ノイズが入ったりする..... (37)



## こんなときの解決方法

### お好みの音質に調節したい

- 低音調節つまみ(BASS)、中音調節つまみ(MID)、高音調節つまみ(TREBLE)、バランス調節つまみ(BALANCE)でお好みの音質に調節してください (☞26ページ)。

### 原音に忠実な再生をしたい

- ソースダイレクトモードをオンに設定してください (☞27ページ)。

### 本機のリモコンでマランツ製CDプレーヤーやネットワークオーディオプレーヤーを操作したい

- リモコンの操作モードを切り替えてください (☞13、14ページ)。
- CDプレーヤーまたはネットワークオーディオプレーヤーの取扱説明書もあわせてお読みください。

### 本機をパワーアンプとして使用したい

- パワーアンプダイレクトモードをオンに設定してください (☞31ページ)。

### 本機をプリアンプとして使用したい

- 本機のプリアウト端子にパワーアンプを接続してください (☞21ページ)。

## 故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のおお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

### ■ 電源が入らない / 電源が切れる

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
電源が入らない。	・コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	23
電源が自動的に切れる。	・オートスタンバイモードが設定されています。操作がない状態で約30分間経過すると、オートスタンバイモードが動作します。オートスタンバイモードを無効にするには、オートスタンバイモード中にSOURCE DIRECTボタンを5秒以上押ししてください。	30
電源が切れ、電源表示が約0.5秒間隔で赤色に点滅している。	・機器内部の温度上昇により保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で1時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから電源を入れ直してください。 ・本機を風通しの良い場所に設置し直してください。	39 —

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
電源が切れ、電源表示が約0.25秒間隔で赤色に点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため保護回路がはたっている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。</li> <li>・音量を下げて、電源を入れ直してください。</li> </ul>	16、39  25、26
電源を入れたときに、電源表示が約0.25秒間隔で赤色に点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機のアンプ回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。</li> </ul>	38

## ■ リモコンで操作ができない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。</li> <li>・リモコンは、本機から約7mおよび30° 以内の範囲で操作してください。</li> <li>・本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。</li> <li>・乾電池の⊕と⊖を正しくセットしてください。</li> <li>・本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。</li> <li>・3D映像機器をご使用の場合、各ユニット間（テレビや3D視聴用メガネなど）の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。</li> </ul>	5 5 — 5 — —

## ■音がまったく出ない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
スピーカーから音が出ない。	•すべての機器の接続を確認してください。	15
	•接続ケーブルを奥まで挿してください。	—
	•入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。	—
	•ケーブルが破損していないか確認してください。	—
	•スピーカーケーブルが正しく接続され、ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。また、スピーカー端子がゆるんでいないか確認し、スピーカー端子をしっかり締めてください。	16
	•適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。	26
	•主音量を適切な大きさに調節してください。	26
	•ミュート（消音）モードを解除してください。	26
	•SPEAKER A/Bボタンの設定を確認してください。	26

## ■ 希望する音が出ない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
特定のスピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。</li> <li>• バランス調節つまみを調節してください。</li> </ul>	16 26
ステレオ再生のときに、左右の音声が入れ替わっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左右のスピーカーが正しいスピーカー端子に接続されているか確認してください。</li> </ul>	17

## ■ 音がひずんだり、ノイズが入ったりする

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
レコード再生のときに、音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 針圧を調節してください。</li> <li>• レコードの針先を確認してください。</li> <li>• カートリッジを交換してください。</li> </ul>	— — —
レコード再生のときに、“ブーン”という雑音がスピーカーから出力される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レコードプレーヤーが正しく接続されていることを確認してください。</li> <li>• レコードプレーヤーの近くにテレビやAV機器などがあると、再生音に影響を受ける場合があります。レコードプレーヤーをテレビやAV機器などから離して設置してください。</li> </ul>	19 —
レコード再生のときに音量を大きくすると、“ワーン”という雑音 がスピーカーから出力される (ハウリング現象)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レコードプレーヤーとスピーカーを離して設置してください。</li> <li>• スピーカーの振動が床を通してプレーヤーに伝わる場合があります。スピーカーの振動をクッションなどで吸収させてください。</li> </ul>	19 —

# 保証と修理について

## ■ 保証書について

- ・この製品には保証書が添付されております。  
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- ・保証期間はご購入日から1年間です。

## ■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。  
詳しくは保証書をご覧ください。

### ご注意

- ・保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

## ■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

## ■ 補修部品の保有期間

- ・本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

## ■ 修理を依頼されるとき

### 修理を依頼される前に

- ・取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- ・正しい操作をしていただかずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

### 修理を依頼されるとき

- ・添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- ・修理を依頼されるための、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

## ■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- ・お名前、ご住所、お電話番号
- ・製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- ・製造番号…保証書と製品背面に表示しています。
- ・できるだけ詳しい故障または異常の内容

## ■ お客様の個人情報の保護について

- ・お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ・この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## 用語の解説

### さ行

#### スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで $\Omega$ （オーム）という単位であらわします。  
この値が小さいほど大きな電力が得られます。

#### ソースダイレクト

入力された音声信号を、音質調節回路（BASS/MID/TREBLE/  
BALANCE）を通さずに出力するため、より原音に忠実な再生  
がおこなえます。

### は行

#### 保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きた  
ときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。  
本機では、異常発生時には電源表示が赤色に点滅し、スタンバ  
イ状態になります。

# 主な仕様

---

• <b>定格出力</b> (20Hz~20kHz両チャンネル同時駆動) :	70W×2 (8Ω負荷) 100W×2 (4Ω負荷)
• <b>全高調波歪率</b> (20Hz~20kHz両チャンネル同時駆動、8Ω負荷) :	0.02%
• <b>出力帯域幅</b> (8Ω負荷、0.06%) :	5Hz~60kHz
• <b>周波数特性</b> (CD、1W、8Ω負荷) :	5Hz~100kHz ±3dB
• <b>ダンピングファクター</b> (8Ω負荷、40Hz~20kHz) :	100
• <b>入力感度/入力インピーダンス</b>	
PHONO (MM) :	2mV/47kΩ
CD、TUNER、NETWORK、AUX、RECORDER :	200mV/20kΩ
POWER AMP DIRECT IN :	1.6V/15kΩ
• <b>出力電圧/出力インピーダンス</b>	
PRE OUT :	1.6V/600Ω
• <b>PHONO最大許容入力</b> (1kHz)	
MM :	100mV
• <b>RIAA偏差</b> (20Hz~20kHz) :	±0.5dB
• <b>S/N比</b> (IHF Aネットワーク、8Ω負荷)	
PHONO (MM) :	87dB (5mV入力、1W出力)
CD、TUNER、NETWORK、AUX、RECORDER :	106dB (2V入力、定格出力)
POWER AMP DIRECT IN :	125dB (定格出力)
• <b>トーンコントロール</b>	
BASS (50Hz) :	±10dB
MID (900Hz) :	±6dB
TREBLE (15kHz) :	±10dB
• <b>電源</b> :	AC100V、50/60Hz
• <b>消費電力</b> :	220W (電気用品安全法による)
• <b>スタンバイ時の消費電力</b> :	0.2W

\* 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。



# 索引

## お

- オートスタンバイモード…………… 30
- 音質の調節…………… 26
  - BALANCE…………… 26
  - BASS…………… 26
  - MID…………… 26
  - TREBLE…………… 26
- 音量の調節…………… 26

## け

- ケーブル…………… 15

## こ

- 故障かな?と思ったら…………… 34
- こんなときの解決方法…………… 33

## す

- スピーカーインピーダンス…………… 39

## せ

- 接続
  - 再生機器…………… 19
  - スピーカー…………… 16、17
  - スピーカー (バイワイヤリング) …… 18
  - 電源コード…………… 23
  - パワーアンプ…………… 21
  - プリアンプ…………… 21
  - リモートコントロール端子…………… 22
  - 録音機器…………… 20

## そ

- ソースダイレクト…………… 25、39

## て

- 電源を入れる…………… 25

## に

- 入力ソースを選ぶ…………… 26

## は

- パワーアンプダイレクトモード…………… 31

## ふ

- 付属品…………… 4

## ほ

- 保護回路…………… 39
- 保証と修理について…………… 38

## み

- ミュートング…………… 26

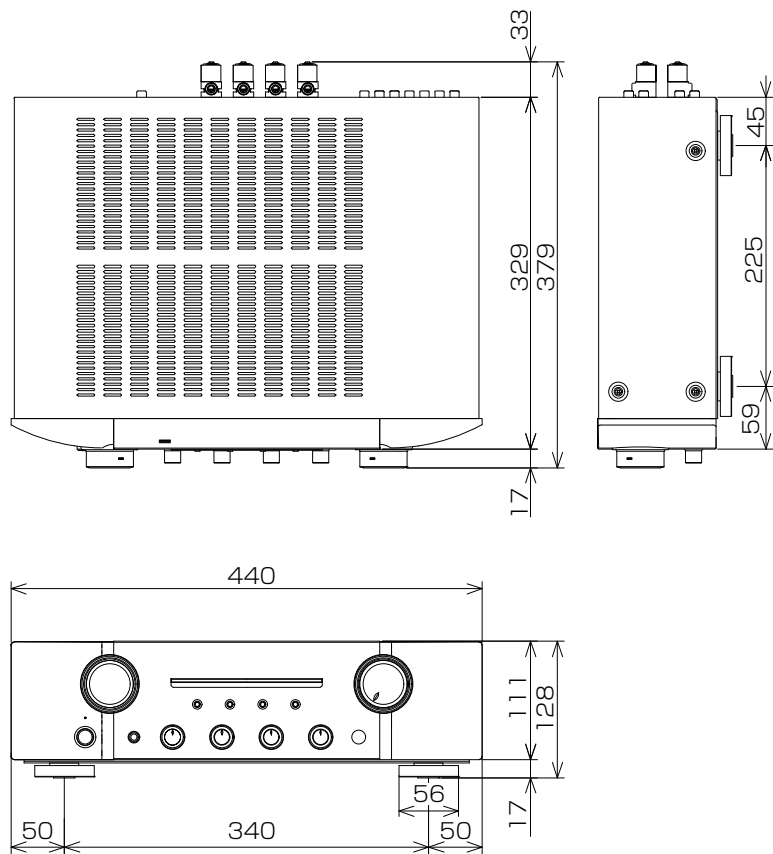
## り

- リモコン…………… 12
- 乾電池の入れかた…………… 5



■ 寸法


单位：mm



■ 質量：12.0kg

# marantz®

お客様相談センター

 0570 (666) 112

【電話番号はお間違えないようにおかけください。】

IP 電話をご利用の場合など、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。その場合は 03 (3570) 5138 におかけください。

受付時間 9:30 ~ 17:30

(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

修理に関するお問い合わせは、  
添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧ください。

後日のために記入しておいてください。

購入店名:	電話 (    -    -    )
ご購入年月日:	年    月    日

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。

<http://www.marantz.jp>